特別徴収継続記載例

給与支払報告 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

第十八号様式（用紙日本産業規格Ａ４）（第十条関係）

年度	１．現年度　２．新年度　３．両年度

狭山市長 殿

令和〇〇年〇〇月〇〇日提出

給与支払者（特別徴収義務者）

所在地	〒 012-3456 〇〇県××市１－２－３	
フリガナ	カブシキガイシャ　マルバツショウジ	
氏名又は名称	株式会社　〇×商事	
個人番号又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 ←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載	

特別徴収義務者指定番号	１２３４５６
宛名番号	１２
担当連絡者先 所属	人事部人事課
担当連絡者先 氏名	特徴　花子
担当連絡者先 電話	00-0000-0000 内線（ 123 ）

給与所得者

		(ア) 特別徴収税額（年税額）	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額（ア）－（イ）	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
フリガナ	サヤマ　イチロウ						
氏名	狭山　一郎						
生年月日	昭和 50 年 1 月 1 日						
個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						
受給者番号（任意）	０１２３－４５６７						
１月１日現在の住所	〇〇県××市４－５－６		6 月から 8 月まで	9 月から 5 月まで	×× 年 8 月 20 日	1	1
異動後の住所	同　上	140,000 円	35,600 円	104,400 円			

異動の事由：1．退職　2．転職　3．休職・長期欠勤　4．死亡　5．支払少額・不定期散他　6．合併・解散　7．その他（事由・理由）

異動後の未徴収税額の徴収方法：1．特別徴収継続　2．一括徴収　3．普通徴収（本人納付）

１．特別徴収継続の場合

新しい勤務先（特別徴収義務者）

特別徴収義務者指定番号	７８９１０（新規）	法人番号	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
所在地	〒 000-0000 ××県〇〇市４－５－６	担当者連絡先 所属	人事課給与担当
フリガナ	カブシキガイシャ　バツマルコウギョウ	担当者連絡先 氏名	特徴　三郎
氏名又は名称	株式会社　×〇工業	担当者連絡先 電話	111-111-1111 内線（ ）

新しい勤務先へは、月割額 11,600 円を 9 月分（翌月 10 日納入期限分）から徴収し納入するよう連絡済みです。

受給者番号（任意） １２３４５

納入書の要否（2の場合のみ記載） 2（右から番号を記入） １．必要　２．不要

狭山市での指定番号がない場合には記載せずに「新規」に〇をつけてください。

新しい勤務先で月割額と特別徴収開始月を記載してください。

２．一括徴収の場合

理由（右から番号を記入）

１．異動が令和５年12月31日までで、一括

２．異動が令和６年１月１日以降で、特別徴収

徴収予定月日　月　日

した税額は、　円　月分（翌月10日納入期限分）で納入します。

３．普通徴収の場合

理由（右から番号を記入）

１．異動が令和５年12月31日までで、一括徴収の申出がないため

２．令和６年５月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額（ウ）以下であるため

３．死亡による退職であるため

※市町村記入欄

【提出先】〒350-1380　埼玉県狭山市入間川１丁目２３番５号　狭山市役所総務部市民税課　【電話】04-2937-5073（直通）